

---

# アンダンテ

シャルル＝マクシミリアン・五所川原

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アンダンテ

### 【Nコード】

N2539BA

### 【作者名】

シャルル＝マクシミリアン・五所川原

### 【あらすじ】

2ちゃんねるの創作発表板「小説家になろう」で企画競作するスレPart3 (<http://yuzuru.2ch.net/test/read.cgi/mitemite/1319658024>)での企画参加作品

バターを塗ったトーストに目玉焼きをのせ、珈琲を淹れる。  
実に簡単な朝食だ。

本当はベーコンも欲しいところだが、諸事値上がりさなかに贅沢も言っていられない。

半熟の卵とカリッとしたパンのハーモニーを味わいながら、ニュースに目を走らせる。

やはり、地球は滅亡するらしい。

地球の裏側アルゼンチンでナノマシン工場が暴走したのは、三週間前のことだった。

テロリストの仕込んだバグが原因だとか、元々存在したバグが顕現しただけだとか色々言われていたが、結論としては「滅亡は防げない」という一言に尽きる。周囲の全てを取り込み自己複製の材料としながら、ナノマシンに覆われた“灰色の領域”はゆっくりと広がりを続けていたが、各国政府の対応は後手後手に回っていた。

今更“地球脱出船団”を作ろう、なんていう声も上がっていたけれど、完成する前に地表全てがナノマシンに覆われるという試算が出てからは尻すぼみになっている。

デザートのリンゴ半個を食べ終え、僕は家を出た。

冬の日曜日の中は清々しくくらいに青く、高い。

身の引き締まるような寒さを五分ほど楽しむと、目的の理容室が見えて来た。

「毎度」

静かな店内では競馬中継のアナウンサーの声だけが妙に浮いている。

迎えてくれるのは馴染み理容師さんは、少し疲れたようにやつれていた。

「今日は、どうするね？」

「モヒカンで、お願いします」

電子書籍の売上でここ一週間、ずっと一位を独占しているコンテンツがある。

『正しい終末の過ごし方』と題されたこの一種の娯楽本は、古き良きブリティッシュジョークの香りを伝える面白い本で、モンティ・パイソンが好きな人には堪らない作りになっていた。

これを書いたイギリス系日本人のE・タンホイザーはまるで宮中晩餐会における外交儀礼プロトコルの解説本のような真面目腐った文体で、諷刺と皮肉の利いた“終末の過ごし方”を解説している。

その中の一条に、“終末を迎えるものはモヒカン刈りでなければならぬ”とあるのだ。

剃り上げたばかりの頭を、そつと撫でてみる。

不思議な感触だ。

道行く人にも、モヒカンにしている人は少くない。

僕がモヒカンにするのを決めたのも、毎朝の通勤電車で普通の髪型の人が減り続けて肩身が狭くなったからだ。

ナノマシンは、時速四キロのスピードでゆっくりと広がっている。  
歩くような速さで迫る滅びを、これからどう迎えようか。  
冬の風に、僕のもヒカンが靡いた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2539ba/>

---

アンダンテ

2012年1月6日15時52分発行